ROUTREK NETWORKS

RouteMagic

RouteMagic Controller

RMC-MP1200

WEB インターフェース説明書

- Version 3.8 -

はじめに

本書は、RMC の WEB インターフェースの説明書です。RMC の WEB インターフェースは RMC のコマンドの中から特に基本的なコマンドを WEB 画面から簡単に設定・実行が行えるようにしたものです。RMC のコマンド仕様に関しましては「RouteMagic Controller クイックリファレンス Version 3.8」をご覧ください。

本書は、RMC ソフトウェア Version 3.8 を前提に記述されています。最新のソフトウェアおよび関連マニュアルは、下記ホームページから直接ダウンロードしてご利用いただけますので、常に、最新バージョンのソフトウェア環境で RMC をご利用下さい。

http://www.routrek.co.jp

関連ドキュメント

RMC には、本書の他に、次のドキュメントが用意されています。

- **RouteMagic Controller　MP1200 / MP200　取扱説明書**
  RMC の設置とネットワーク機器への接続に必要な情報を記載した、製品添付の説明書です。MP1200 版と MP200 版があります。
- **RouteMagic Controller　MP1200 / MP200　ユーザーズ・ガイド**
  RMC をご利用いただくために必要な作業を中心に、RMC が提供する機能とその利用方法を説明しています。
- **RouteMagic Controller　MP1200 / MP200　クイックリファレンス**
  RMC でご利用いただけるコマンドについての説明書です。
- **RMC セットアップサーバ構築・運用ガイド**
  多数の RMC を設置される場合の、一括セットアップ／バージョンアップに関して記述しています。
- **RouteMagic Controller　リリースノート**
  旧リリースとの相違点を中心に、最新リリースの機能と利用上の注意事項を記述しています。

目次

1. ログイン

ログイン画面

ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト： 192.168.9.108

領域 Please enter username and password

ユーザー名(U)

パスワード(P)

このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

RMC へ WEB ブラウザで最初に接続した時に、ログイン画面が表示されます。
この画面では RMC へログインするためのユーザ名とパスワードを入力します。
使用できるユーザ名は RMC コマンド'set user-name'によって追加されたユーザ名も含みます。

[関連 RMC コマンド]

set user-name , set password , set user-password

特権モードパスワード入力画面

ログイン後の右上に「特権モード」のリンクがあります。このクリックすることで、特権モードへ移行するパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力画面において特権モードパスワードを入力し「実行」ボタンを押すと特権モードに移行します。
特権モードでは WEB 画面にて特権モードの設定項目が表示され特権モードの設定機能を使用することが出来ます。

[関連 RMC コマンド]

enable , set enable-password

2. 情報表示

システム情報

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報
■ネットワーク設定

システム情報

ハードウェアバージョン	RMC-M12-01
ソフトウェアバージョン	3.8.0
MACアドレス	00:e0:27:dd:01:1b
稼働時間	20 min

システム情報を表示します。
ハードウェアバージョン、ソフトウェアバージョン、eth0 ポートの MAC アドレス、RMC が起動してから現在までの稼働時間が表示されます。

[関連 RMC コマンド]

show version

ログ表示

COM ポートログ表示

シリアルポートの送受信バイト数を表示します。
「表示」をクリックすると、シリアルポートの受信データを表示します。

[関連 RMC コマンド]

show log comN

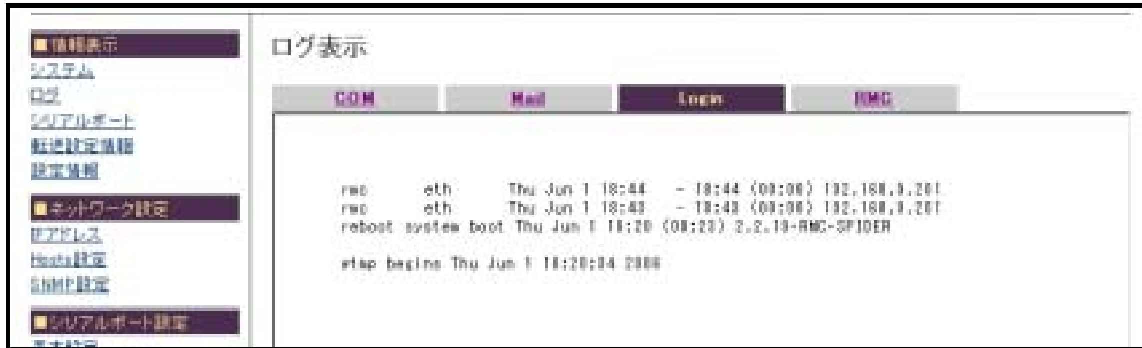
MAIL ログ表示

メール送受信ログを表示します。

[関連 RMC コマンド]

show log mail

LOGIN ログ表示

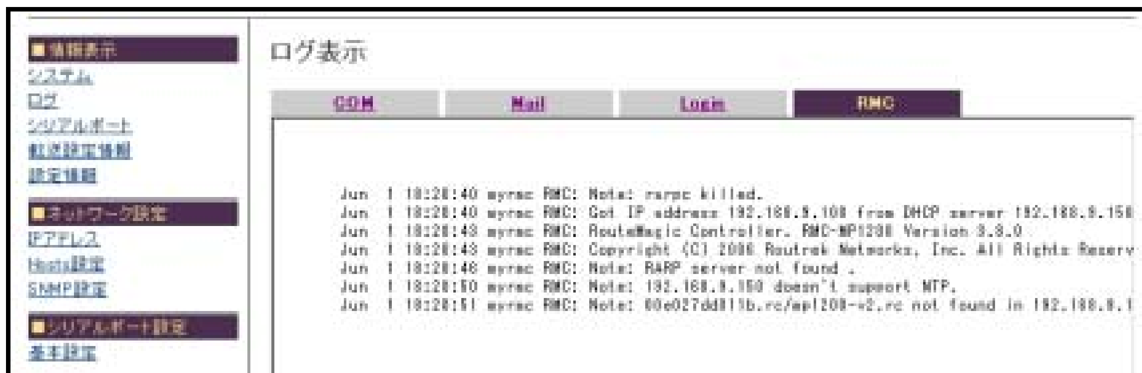


RMC にログインしたユーザ情報のログを表示します。

[関連 RMC コマンド]

show log login

RMC ログ表示



RMC の内部動作ログを表示します。

[関連 RMC コマンド]

show log rmc

シリアルポート情報

コンソール監視

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報
■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定
■シリアルポート設定
基本設定
■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
履歴情報取得設定
操作ログ取得設定
■メール設定

シリアルポート情報

コンソール監視 | シリアルポート状態

ポート	説明	ターゲットタイプ	監視結果	ログ表示
com1		cisco(default)	未設定	ログ表示
com2		cisco(default)	未設定	ログ表示
com3		cisco(default)	未設定	ログ表示
com4		cisco(default)	未設定	ログ表示
com5		cisco(default)	未設定	ログ表示
com6		cisco(default)	未設定	ログ表示
com7		cisco(default)	未設定	ログ表示
com8		cisco(default)	未設定	ログ表示
com9		cisco(default)	未設定	ログ表示
com10		cisco(default)	未設定	ログ表示
com11		cisco(default)	未設定	ログ表示
com12		cisco(default)	未設定	ログ表示

各シリアルポートの監視対象装置の状態を表示します。
表示される項目は description（シリアルポートに付加されるコメント）、ターゲットタイプ、監視結果（監視設定を行っている場合）です。
「ログ表示」をクリックすることで、各ポートの受信ログのページが表示されます。

[関連 RMC コマンド]

set description, set target-type, set target-check, set target-ping-check

シリアルポート状態

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報
■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定
■シリアルポート設定
基本設定
■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
履歴情報取得設定
操作ログ取得設定
■メール設定
基本設定

シリアルポート情報

コンソール監視 | シリアルポート状態

ポート	説明	転送速度	パリティ	フロー制御	ストップビット	操作ログ	送信 (bytes)	受信 (bytes)
com1		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com2		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com3		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com4		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com5		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com6		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com7		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com8		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com9		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com10		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com11		9600 bps	none	none	1	–	–	–
com12		9600 bps	none	none	1	–	–	–

各シリアルポートの設定状態を表示します。
表示される項目は description (シリアルポートに付加されるコメント) 、転送速度、パリティビット、フロー制御、ストップビット、送受信バイト数、操作ログ取得の設定状態です。
RMC コマンドの“set connect-port”で、あらかじめシリアルポートへの直接接続を可能にしておくことにより「telnet 接続」のリンクが表示されます。このリンクをクリックすることで、各シリアルポートへの直接接続を行うことが出来ます。

[関連 RMC コマンド]

set description, set speed, set parity, set flowcontrol, set stopbits, set connect-log, set connect-port

転送設定情報

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報
■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定
■シリアルポート設定
基本設定
■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
機器情報取得設定
操作ログ取得設定
■メール設定
基本設定

転送設定情報

転送元ポート	フィルタ	転送先ポート
rmc		ml0
target1		ml0
target2		ml0
target3		ml0
target4		ml0
target5		ml0
target6		ml0
target7		ml0
target8		ml0
target9		ml0
target10		ml0
target11		ml0
target12		ml0

RMC コマンドの”set spy”による転送設定の状態を表示します。

[関連 RMC コマンド]

set spy, show spy

3．ネットワーク設定

IP アドレス

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報
■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定
■シリアルポート設定
基本設定
■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
機器情報取得設定
操作ログ取得設定
■メール設定
基本設定

IPアドレス設定

eth0

IPアドレスをDHCPで取得	☑ (IPアドレスの設定値がDHCPより優先されます)
IPアドレス	
ネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	

eth1

IPアドレス	
ネットマスク	

ネームサーバアドレス1	
ネームサーバアドレス2	

設定　リセット

各イーサネットポートの DHCP クライアント、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定及びネームサーバアドレスの設定を行います。（DHCP クライアント設定及びデフォルトゲートウェイ設定は eth0 のみ行えます。）
IP アドレスの設定は DHCP クライアントの設定より優先されます。

[関連 RMC コマンド]

set dhcp, set address, set name-servers

Hosts 設定

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報
■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定
■シリアルポート設定

ホストアドレス設定

No.	IPアドレス	ホスト名	クリア
1	192.168.0.2	host2	クリア
2	192.168.0.1	host1	クリア

設定 リセット

DNS が利用できない時のための、ホスト名と IP アドレスの変換テーブルを設定します。

[関連 RMC コマンド]

set hosts, show hosts

SNMP 設定

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報
■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定

Snmp設定

Community名	public
Trap送信先	192.168.0.1
Trap Community	public

設定 リセット

snmp のコミュニティ名、snmp trap の送信先、snmp trap のコミュニティ名の設定をします。

[関連 RMC コマンド]

set snmp-community, set snmp-traps,

4. シリアルポート設定

基本設定

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報
■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定
■シリアルポート設定
基本設定
■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
機器情報取得設定
操作ログ取得設定
■メール設定
基本設定
メールポート情報

シリアルポート設定

ポート	転送速度	データ	パリティ	フロー制御	ストップビット
com1	9600 bps	8	none	none	1
com2	9600 bps	8	none	none	1
com3	9600 bps	8	none	none	1
com4	9600 bps	8	none	none	1
com5	9600 bps	8	none	none	1
com6	9600 bps	8	none	none	1
com7	9600 bps	8	none	none	1
com8	9600 bps	8	none	none	1
com9	9600 bps	8	none	none	1
com10	9600 bps	8	none	none	1
com11	9600 bps	8	none	none	1
com12	9600 bps	8	none	none	1

設定 リセット

各シリアルポートの転送速度、1文字のビット数、パリティ、フロー制御、ストップビット長を設定します。

[関連 RMC コマンド]

set csize, set parity, set speed, set stopbits, set flowcontrol

5. ターゲット設定

ターゲット設定

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報

■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定

■シリアルポート設定
基本設定

■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
機器情報取得設定
操作ログ取得設定

■メール設定
基本設定
メールポート情報

■転送設定
転送設定

ターゲット設定

ポート	説明	ターゲットタイプ	使用中	監視結果	ポート状態	ログ表示
com1		cisco		未調査	9600	ログ表示
com2		cisco		未調査	9600	ログ表示
com3		cisco		未調査	9600	ログ表示
com4		cisco		未調査	9600	ログ表示
com5		cisco		未調査	9600	ログ表示
com6		cisco		未調査	9600	ログ表示
com7		cisco		未調査	9600	ログ表示
com8		cisco		未調査	9600	ログ表示
com9		cisco		未調査	9600	ログ表示
com10		cisco		未調査	9600	ログ表示
com11		cisco		未調査	9600	ログ表示
com12		cisco		未調査	9600	ログ表示

設定 リセット

各シリアルポートのコメント及び接続されているターゲットタイプの設定を行います。
「ログ表示」をクリックすることで、各ポートの受信ログのページが表示されます。

[関連 RMC コマンド]

set description, set target-type

ターゲット監視設定

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報
■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定
■シリアルポート設定
基本設定
■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
機器情報取得設定
操作ログ取得設定
■メール設定
基本設定
メールポート情報
■転送設定

ターゲット監視設定

ポート	監視	監視間隔（分）	PING監視	PING送信先	PING間隔（分）	PING回数	PING成功回数
com1	☐		☐				
com2	☑	10	☑	192.168.0.100	3	3	3
com3	☐		☐				
com4	☐		☐				
com5	☐		☐				
com6	☐		☐				
com7	☐		☐				
com8	☐		☐				
com9	☐		☐				
com10	☐		☐				
com11	☐		☐				
com12	☐		☐				

設定 リセット

各シリアルポート経由及び PING による監視対象装置の監視設定を行います。
「監視間隔」はシリアルポート経由からの監視を行う間隔を指定します。「PING 送信先」は監視対象装置の IP アドレスを指定します。「PING 間隔」は PING による監視間隔。「PING 回数」は PING を送信する回数を指定します。（デフォルト 3）「PING 応答回数」は何回の応答があれば成功とみなすかの回数を指定します。「PING 回数」を超える数字は指定できません。

[関連 RMC コマンド]

set target-check, set target-ping-check

機器情報取得設定

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報

■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定

■シリアルポート設定
基本設定

■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
機器情報取得設定
操作ログ取得設定

■メール設定
基本設定
メールポート情報

■転送設定
転送設定

機器情報取得設定

ポート	取得ON	取得時間(時) (カンマ区切り)	取得時間(分) (カンマ区切り)
com1	☐		
com2	☑	0,3,6,9	0,30
com3	☐		
com4	☐		
com5	☐		
com6	☐		
com7	☐		
com8	☐		
com9	☐		
com10	☐		
com11	☐		
com12	☐		

設定　リセット

監視対象装置の情報収集及び収集した情報の送信時刻を設定します。
「取得時間」は情報収集の時間と分をそれぞれカンマ区切りで指定します。
例えば、深夜 0 時、午前 6 時、正午、午後 6 時に収集する場合は、
「取得時間（時）」は"0,6,12,18"、「取得時間（分）」は"0"となります。

[関連 RMC コマンド]

set network-info-time

操作ログ取得設定

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報

■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定

■シリアルポート設定
基本設定

■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
履歴情報取得設定
操作ログ取得設定

■メール設定
基本設定
メールポート情報

操作ログ取得設定

ポート	取得ON	
com1	☐	
com2	☑	
com3	☑	
com4	☐	
com5	☐	
com6	☐	
com7	☐	
com8	☐	
com9	☐	
com10	☐	
com11	☐	
com12	☐	

設定 リセット

connect コマンドで接続したポートの操作記録を、ポート"targetN"に出力する設定を行います。
"targetN"へ出力された内容は「転送設定」によって各ポート（メールポートやシリアルポート）へ送信することが出来ます。

[関連 RMC コマンド]

set connect-log, set spy

6. メール設定

基本設定

電子メールサービスの基本設定を行います。
「メール送信サービス」は電子メールサービスを開始する設定を行います。
「受信メール認証」は RMS(RouteMagic Server)から受信したメールの認証の設定です。RMS の PGP 公開鍵を設定する必要があります。
「メールリレーホスト」はメール送信時のリレー(中継)ホスト名を指定します。
「送信元アドレス」は RMC が送信するメールの "From"アドレスのドメイン部分を指定します。

[関連 RMC コマンド]

set mail-certification, set mail-service, set mail-relayhost, set mail-origin

メールポート情報

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報

■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定

■シリアルポート設定
基本設定

■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
機器情報取得設定
操作ログ取得設定

■メール設定
基本設定
メールポート情報

■転送設定
転送設定

■システム管理
時間設定
RMCの再起動
設定の保存
全設定の初期化

メールポート設定

ポート	送信アドレス	エラー通知アドレス	最大文字数	最大行数	待ち時間(秒)	暗号化
ml0	rms@[192.168.10.135]		64000		10	-
ml1			64000		10	-
ml2			64000		10	-
ml3			64000		10	-
ml4			64000		10	-
ml5			64000		10	-
ml6			64000		10	-
ml7			64000		10	-
ml8			64000		10	-
ml9			64000		10	-
ml10			64000		10	-
ml11			64000		10	-
ml12			64000		10	-
ml13			64000		10	-
ml14			64000		10	-
ml15			64000		10	-

設定 リセット

メールポートの各種設定を行います。
「送信アドレス」はメールの宛先アドレスを指定します。
「エラー通知アドレス」はエラーメールの宛先アドレスを指定します。
「最大文字数」は 1 メールあたりの最大文字数を指定します。
「最大行数」は 1 メールあたりの最大行数を指定します。
「待ち時間」は監視対象装置からの文字出力が止まった時、そこまでに受信した文字列をメール送信するまでの待ち時間を指定します。
メールの送信は、「最大文字数」、「最大行数」、「待ち時間」のいずれか 1 つの条件が満たされた時点で送信されます。
「暗号化」は送信メールの暗号化を行うかどうかの設定をします。メールを暗号化するには、set public-key でメールアドレスを ID とする PGP 公開鍵をあらかじめ設定しておく必要があります。"RES"を指定した場合は、ルートレック独自の暗号化方式(RES:Routrek Encryption Scheme)を使用し、RMS(RouteMagic Server)との送受信メールを暗号化します。ルートレック独自暗号方式は、メールポート ml0 のみで使用可能で、RMS のメールアドレスがセットされている事と、RMS からのメールの受信が POP を使用せずに直接行える環境である必要があります。

[関連 RMC コマンド]

set mailto, set errors-to, set max-nmr-of-lines, set max-nmr-of-chars,
set inactivity-timer, set mail-encryption

7. 転送設定

転送設定

■情報表示
システム
ログ
シリアルポート
転送設定情報
設定情報
■ネットワーク設定
IPアドレス
Hosts設定
SNMP設定
■シリアルポート設定
基本設定
■ターゲット設定
ターゲット設定
ターゲット監視設定
機器情報取得設定
操作ログ取得設定
■メール設定
基本設定
メールポート情報
■転送設定
転送設定

転送設定

転送元ポート	フィルタ	転送先ポート	追加
rmc	none	ml0	追加

転送元ポート	フィルタ	転送先ポート	削除
rmc		ml0	削除
target1		ml0	削除
target2		ml0	削除
target3		ml0	削除
target4		ml0	削除
target5		ml0	削除
target6		ml0	削除
target7		ml0	削除
target8		ml0	削除
target9		ml0	削除
target10		ml0	削除
target11		ml0	削除
target12		ml0	削除

ポートからポートへの単方向の接続の設定を行います。
たとえば、"com1"から"ml1"の設定を行うと、com1 への入力が ml1(メールポート 1)へ送信されます。
また、フィルタを指定した場合、com ポートの入力をフィルタを通過した文字列が送信先ポートへ送られます。ここで指定されるフィルターは各シリアルポートのターゲットタイプに従ったフィルターが設定されます。

[関連 RMC コマンド]

set spy, show spy, set target-type, set target-filter, show target-filter

8. システム管理

時間設定

NTP サーバの設定または時刻の設定を行います。
NTP サーバを指定した場合、サーバの設定と同時に NTP サーバへの時刻の問い合わせを行い、以降 1 日に1回の時刻修正を行います。
NTP サーバを指定していない (空欄) 場合は、「時刻」で指定した日時に設定されます。

[関連 RMC コマンド]

set ntp-server, set date

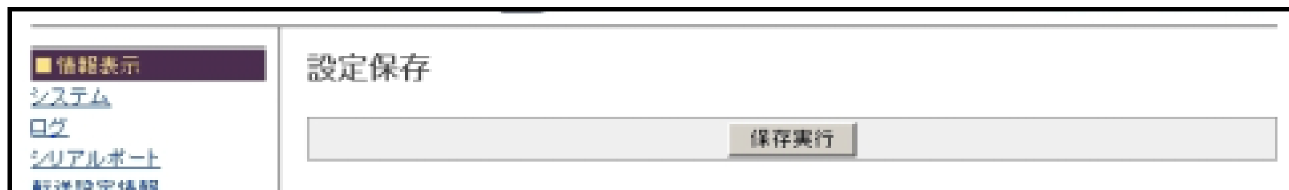
RMC の再起動

RMC の再起動を行います。
保存していない設定は破棄されますのでご注意ください。

[関連 RMC コマンド]

reload

設定の保存

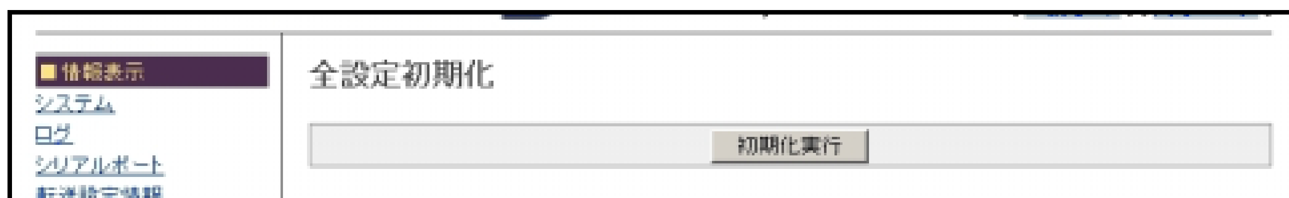


RMC の現在の設定情報を保存します。
設定情報を保存する事で再起動後も保存した設定状態で起動します。

[関連 RMC コマンド]

write memory

全設定の初期化



保存されている設定情報を削除します。
再起動後、RMC は工場出荷時の設定に戻ります。なお、本機能を実行すると、シリアルポートのログ内容、および RMC 内に保存されている装置の設定情報も同時に消去されます。

[関連 RMC コマンド]

write erase

ソフトウェアの更新

ソフトウェアのアップグレードファイルを受信し、アップグレードを行います。
左のラジオボタンでアップグレードファイルの受信方法を選択し、サーバ名、ファイル名を指定します。
「実行」ボタンを押すとファイルの受信が始まりエラーが無ければアップグレードを行います。
アップグレードが終了すると自動的に再起動を行いますので、保存されていない設定は破棄されます。
なお、本機能を実行すると、シリアルポートのログ内容および RMC 内に保存されている装置の設定情報は消去されます。

[関連 RMC コマンド]

upgrade

telnet 接続

RMC への telnet による接続を行います。
「telnet 接続」のリンクをクリックすると、WEB ブラウザに関連付けられた telnet クライアントソフトが起動し RMC へのログインが行えます。

9. その他

RMC コマンド実行

任意の RMC コマンドを実行します。
テキストエリアに実行したいコマンドを記述し、「実行」ボタンを押すことで実行を開始します。実行完了後、実行結果が表示されます。

Ping 送信

指定したホストへの接続のテストを行います。
PING を送信するあて先アドレスを指定し、「PING 実行」ボタンを押すと PING の送信を行い実行結果が表示されます。

[関連 RMC コマンド**]**

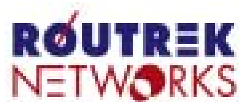
ping

製品に関するサポートのご案内

製品に関するお問い合わせやテクニカルサポートについては、下記の弊社サポートページをご覧ください。

http://www.routrek.co.jp/support/

また、製品に関する最新情報やマニュアルも上記ページからダウンロードすることができますのでご参照ください。



株式会社ルートレック･ネットワークス
〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子５－１－１ 高津パークプラザ
Tel. 044-829-4361　　Fax. 044-829-4362